

同好会報告

# ゴルフ同好会

## 【第58回ゴルフ会】

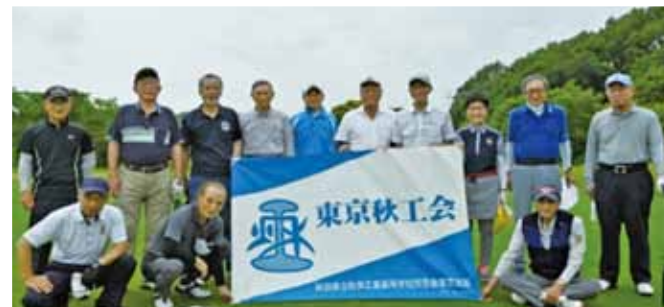
コロナ禍でゴルフ会の活動中止が続き、前回の第57回ゴルフ会は3年前の2019年10月でした。そして第58回目は2022年5月26日に、14名の参加で再開することができました。

ゴルフ場は、高崎市の吉井南陽台ゴルフ・コースです。当日の天気は曇天で、暑からず寒からずのゴルフ日和でした。ここのコースは一見やさしそうに見えますが、落とし穴が各コースにあり、苦労したプレイヤーもいたようです。

プレー終了後は高崎市の西部にある相間川温泉で温泉に浸かった後、表彰式と懇親会を行いました。翌日相間川温泉の近くの榛名の森CCで第59回ゴルフコンペを実施予定でしたが、朝からの大雨で残念ながら延期になりました。

## ●第58回 個人戦成績

順位	氏名	卒年・科	スコア				
			前半	後半	GRO	HC	NET
優勝	嵯峨 良平	S43E	54	48	102	26	76
準優勝	藤田 昌博	S39A	48	42	90	13	77
第3位	加藤 幸夫	S36M	53	52	105	28	77



第58回参加者



第58回1組



第58回2組



第58回3組



表彰式と懇親会

## 【第59回ゴルフ会】

15名の参加により、12月8日に千葉県の源氏山ゴルフクラブで行いました。当日は雲が無い快晴の青空の中でのプレーで、東京秋工委会長の佐々木進氏(S40S)が見事初優勝しました。

しかもドラコン賞(2個)とニアピン賞(4個)の計6個の内、5個(ドラコン2個+ニアピン3個)を獲得したダントツの成績でした。

ちなみに残り1個のニアピン賞は、前回優勝した嵯峨良平氏(S43E)が取得しました。

## ●第59回 個人戦成績

順位	氏名	卒年・科	スコア				
			前半	後半	GRO	HC	NET
優勝	佐々木 進	S40S	47	52	99	28	71
準優勝	田中 義雄	ゲスト	47	50	97	20	77
第3位	武藤 三郎	ゲスト	53	54	107	28	79



第59回の参加者



第59回1組



第59回2組



第59回3組



第59回4組

## ◆直近4年間の優勝者

回	年	月	氏名	卒年・科	ゴルフ場
52	2017	4	小坂 正行	S32M	常陽カントリー
53	2017	10	小野 鐵雄	S38C	源氏山GC
54	2018	4	山本 修一	S40A	源氏山GC
55	2018	10	大石 ひろみ	ゲスト	浅見GC
56	2019	4	三平 俊悦	S39A	浅見GC
57	2019	10	宮川 良一	S34M	新千葉CC
58	2022	5	嵯峨 良平	S43E	吉井南陽台GC
59	2022	12	佐々木 進	S40S	源氏山GC

## ゴルフ同好会

代表 宮川 良一 (昭和34年機械科卒)  
 事務局 三平 俊悦 (昭和39年建築科卒)  
 連絡先 携帯電話:090-6930-1389  
 E-mail:shunmihira1945@gmail.com

同好会報告

## ゴルフ会優勝者寄稿

# 第58回ゴルフ会に優勝して

## 嵯峨 良平

(昭和43年電気科卒)



### 1. 優勝について

ゴルフ下手な私は、会報KANASA掲載の本コーナーの「ゴルフ会優勝者寄稿」を羨望のまなざしで拝読していたが、まさか自分が優勝寄稿ができるとは思っていませんでした。それは第58回東京秋工委会ゴルフ同好会主催のコンペでした。いつも通いなれた地元の私のメンバーコースでもある吉井南陽台GCで、本来ならば土地勘のある私に有利ではあったものの、2022年正月明けからゴルフとランド・ゴルフ(GG)共に絶不調に陥ってしまいました。GGは4月に入ってから調子に戻ったのですが、ゴルフは相変わらず不調のまま、更に5月26日のコンペに対して5月に入ったとたんに腰痛で、好スコアは諦めていました。

その中でコンペ本番の5月26日の朝、家を出る時にいつも使っているどうもじっくりしないパターにもう1本別のパターをゴルフバックに入れました。そのパターはゴルフ仲間の方が捨てたのをもらい受けたものです。グリップを握ってじっくりはしなかったのですが、今まで使い慣れたパターよりも何かを感じたので使ってみました。ところがこれが功を奏したのか、いつもは当然のようにある3〜4パットがありません。お陰様で何故か第58回ゴルフコンペで夢のような優勝が出来ました。ゴルフ終了後は高崎市の西部地域にある、相間川温泉ふれあい館で表彰式と参加者皆様とゴルフ談義をしながら楽しい懇親会を行いました。



コンペ終了後の懇親会

### 2. ゴルフについて

ゴルフを始めたのは50歳くらいの時で、他のゴルファーに比べて遅くやや高齢に差し掛かってからでした。40代の後半に高崎から埼玉に転勤があり、その事務所の外に簡易的に網で囲ったゴルフ打ちの練習場があり、仕事が終わった後の誰もいないのを見計らって見様見真似で打っていました。数年経過した時にたまたま上司に目撃されて、「職場のコンペに出てみないか?」と誘われたのがゴルフをするスタートでした。

初めて東京秋工委会のゴルフコンペに参加したのは、60歳を過ぎた2009年の5月の森林公園GCでした。スコアは当然滅茶滅茶のデビューでした。

### 3. グランドゴルフ(GG)について

ゴルフの腕がさっぱり上がらないので、GGを始めてみることにしました。当初はGGを下に見ていましたが、やってみると結構技術と思考の必要なゲームであることに気が付きました。GGをすると「ゴルフのパターがおかしくなる?」と言う人もいますが、自分の場合は相互に参考になることを感じています。例えばパターラインを見た時に、フックラインの場合には、GGではスライスを打つと効果的だが、ゴルフも同じで軽くスライスを掛けたらと思った感じ

でボールが進みます。実は優勝した第58回の東京秋工委会のゴルフコンペで、フックラインをスライス打ちで密かに試してみても好感触を得ました。

GGはゴルフに比べてパターラインが超長くて、15m・25m・30m・50mのコースが各々2コースの8コースを4周りの32コースで1ゲームとする全パター競技です。

GGを始めて半年はスコアが悪かったが、半年を過ぎたあたりからスコアがグングン良くなり、1年間最多ホールインワン打者になったこともありました。GGは継続していこうと思います。

### 4. これから

何歳までゴルフができるかわかりませんが、段々飛距離が落ちてきているのが感じられ、スコアを気にしてゴルフができなくなってきました。これからはスコアを気にしないで、運動するのが第一の考えでやっていきたいと思っています。



第58回表彰受賞 (右:嵯峨)

# 第59回ゴルフ会に優勝して

## 佐々木 進

(昭和40年採鉱科卒)



第59回表彰受賞 (左:佐々木)

東京秋工委会のゴルフ会に参加してもうすでに10余年になろうとしています。いつも優勝候補に挙げられながら数多くのファンを裏切ってまいりました。最近冷たい言葉が聞かれるようにもなりました。いつも、今日こそはと頑張っているのですが必ず数か所、罠にはまってしまいます。最近「ゴルフはスコアだけじゃないよ」と、ゴルフの神様の声が聞こえます。ところが、今回は違っていました。場所は千葉市原の「源氏山ゴルフ倶楽部」です。私的には距離がそんなに長くないので好きなゴルフ場です。今、NHKが始まりました「どうする家康」の主人公である家康は、尊敬する源義家から「家」の字を名乗ったそうです。私も時代小説と城が好きで、大河ドラマはほぼ見続けています。「源氏山」何かある。話がそれてしまいました。「源氏山ゴルフ倶楽部」は何度か足を運んでいますが、池越えのショートや打ち下ろしのホールではいつも泣かされていました。しかし不思議なことに大げがをせず通過です。今回のメンバーは三平俊悦さん、武藤三郎さん(大曲工業)、田中義雄さん(大館鳳鳴)と桁外れの技能を有する3名です。これが功を奏したのかもしれない。なんとしても、+1くらいでついていければいいのですから結構気分はリラックスでした。ゴルフの挨拶ではもう一つ話すことになっています。素晴らしい天候に恵まれました。今回は「ハンデ」にも恵まれ、かろうじてたまたま「優勝」させていただきましたが、次回にはさらに良いスコアで頑張りたいと思います。まさかの「優勝」、ありがとうございました。感謝、感謝です。